

八甲田山の火山活動解説資料（平成 26 年 12 月）

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」以降増加していた八甲田山周辺の地震は、2014年2月頃から減少し、今期間も少ない状況で経過しました。

2013年4月から7月にかけて増加した、大岳山頂直下の地震活動は低調ながら継続していることから、今後の火山活動の推移に注意してください。

平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況

噴気等の異常に関する通報はありませんでした。

・ 地震や微動の発生状況（図2～4）

「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」以降増加していた八甲田山周辺を震源とする地震は、2014 年 2 月頃から減少し、今期間も少ない状況で経過しました。大岳山頂直下付近が震源と推定される火山性地震は、2013 年 2 月から発生し始め、同年 4 月から 7 月中旬にかけて増加しましたが、同月下旬から減少し、今期間も少ない状況で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図5、図6）

国土地理院の広域的なGNSS¹⁾連続観測や、南荒川山、駒込深沢の八甲田山を挟むGNSS連続観測で、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成27年1月分）は平成27年2月9日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、弘前大学、東北大学、国土地理院、独立行政法人防災科学技術研究所、青森県のデータ等を利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。

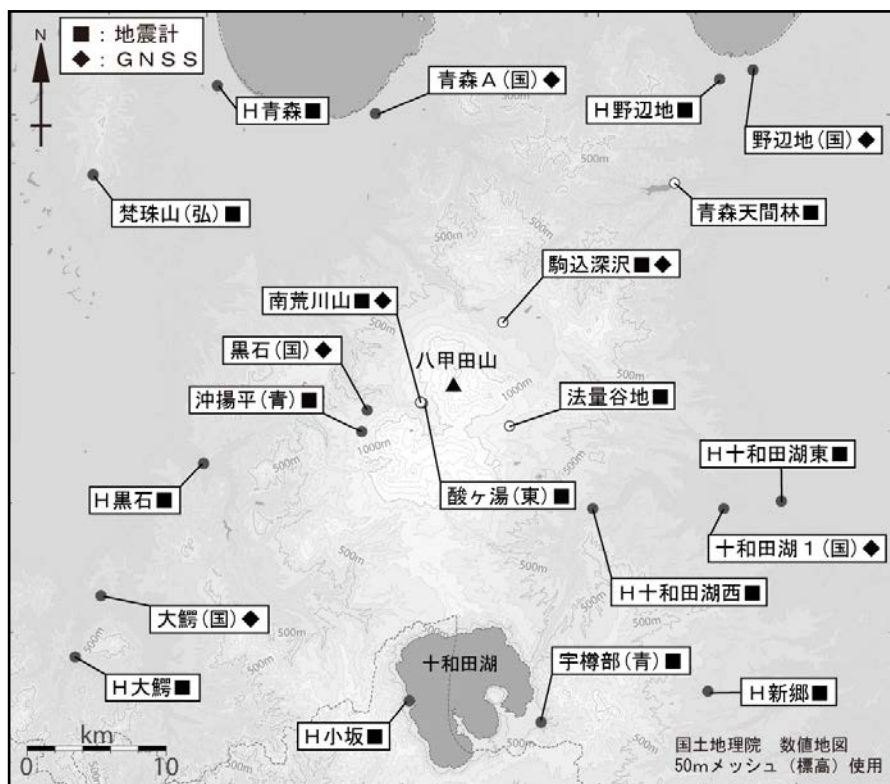


図1 八甲田山 観測点配置図

- ・小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（弘）：弘前大学 （東）：東北大学 （国）：国土地理院 （青）：青森県
H：独立行政法人防災科学技術研究所

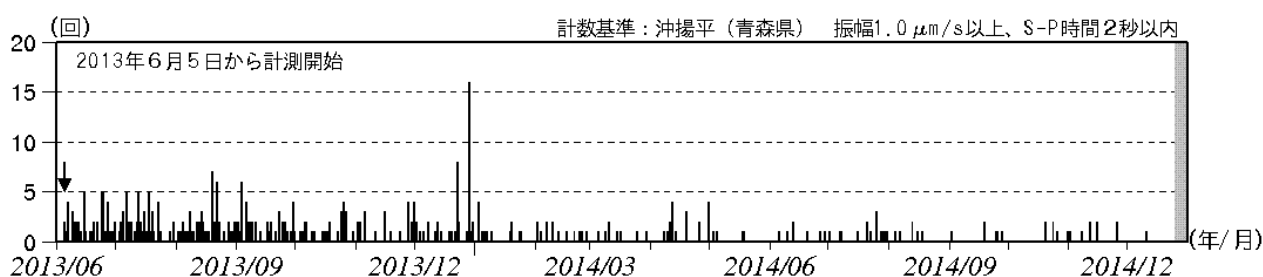


図2 八甲田山 日別地震回数(2013年6月~2014年12月)

- ・ 沖揚平（青森県）のデータを元に、2013 年 6 月 5 日から地震回数の計数を開始しました。
- ・ 灰色部分は欠測を表しています。
- ・ 2014 年 12 月 26 日以降、基準観測点の機器障害により地震回数が欠測となっていますが、その他の観測点による監視では、31 日までの期間、火山性地震及び火山性微動は観測されませんでした。

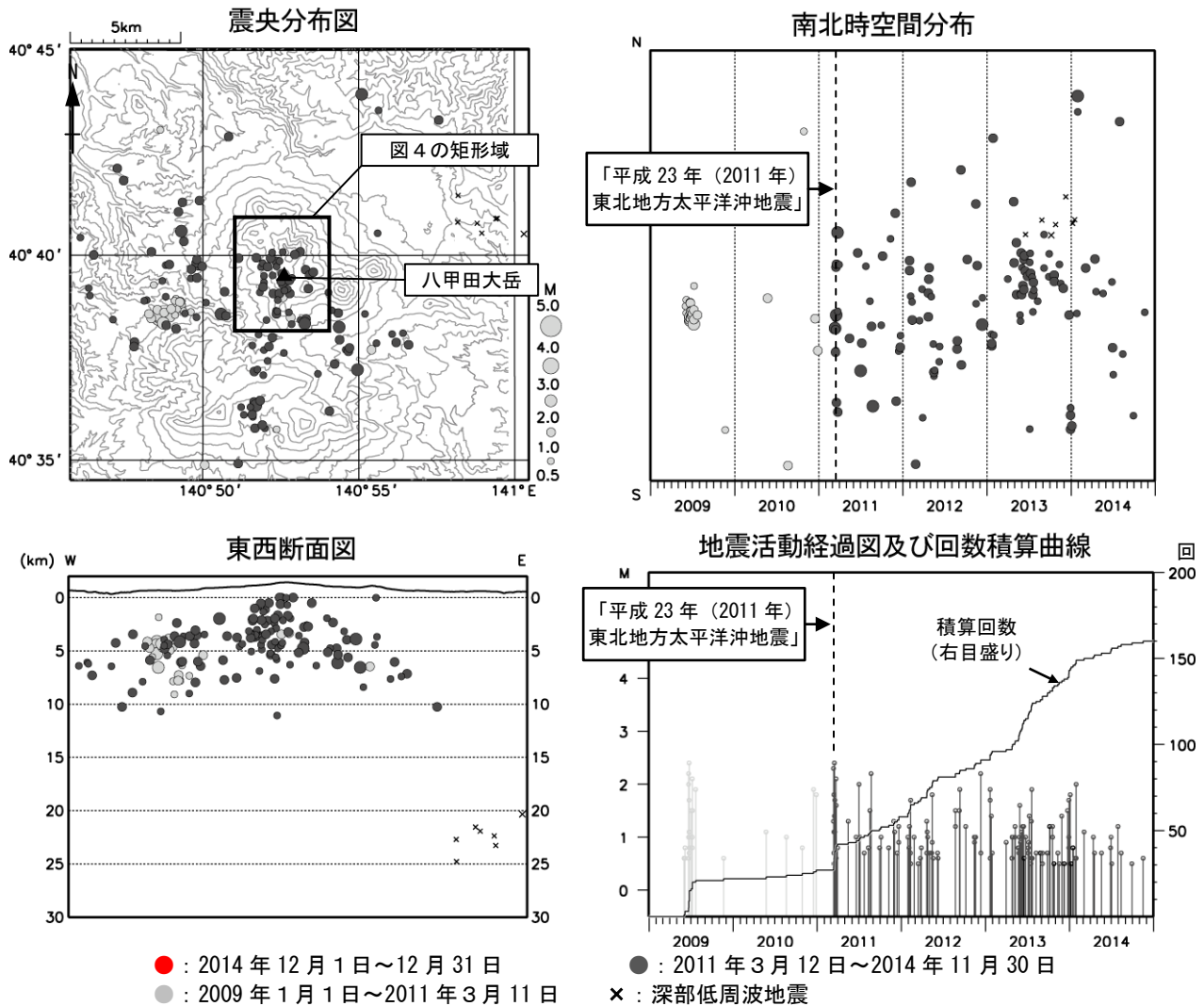


図 3 八甲田山 広域地震観測網による八甲田山周辺の地震活動図（2009 年 1 月～2014 年 12 月）

- ・ 2013 年 2 月 14 日～5 月 24 日及び 2014 年 12 月 26 日以降の期間は、沖揚平観測点（青森県）が障害のため検知能力が低下しています。
- ・ M（マグニチュード）は地震の規模を示します。
- ・ 図中の一部の震源要素は暫定値で、後日変更することがあります。
- ・ 今期間、震源決定された地震はありませんでした。

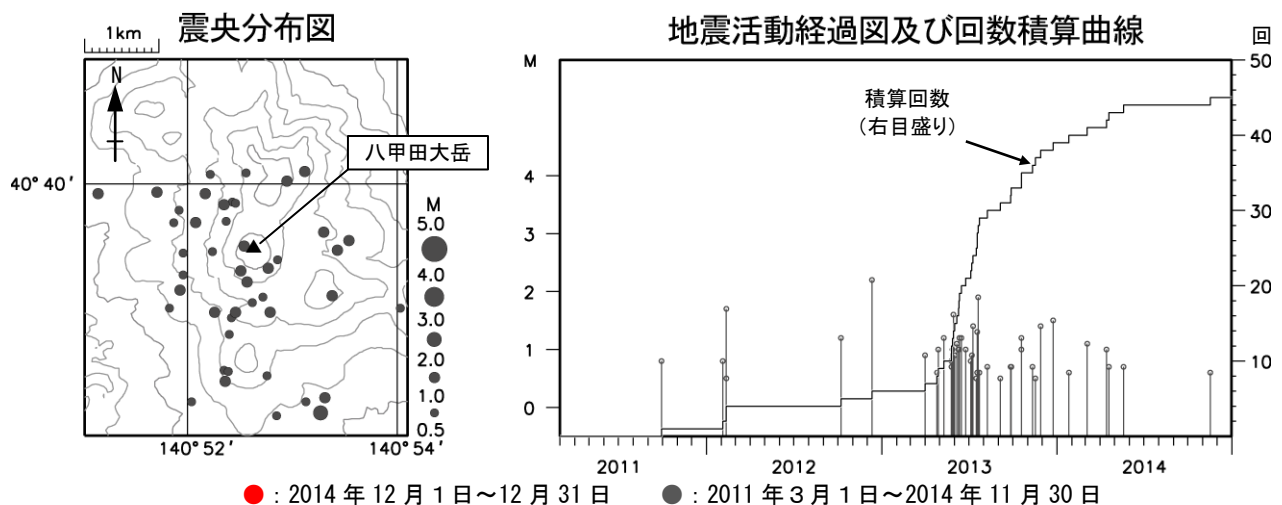


図 4 八甲田山 広域地震観測網による八甲田大岳山頂付近の地震活動図（2011 年 3 月～2014 年 12 月）

- ・ 図 3 震央分布図内の小矩形域を拡大しています。
- ・ M（マグニチュード）は地震の規模を示します。
- ・ 図中の一部の震源要素は暫定値で、後日変更することがあります。
- ・ 今期間、震源決定された地震はありませんでした。

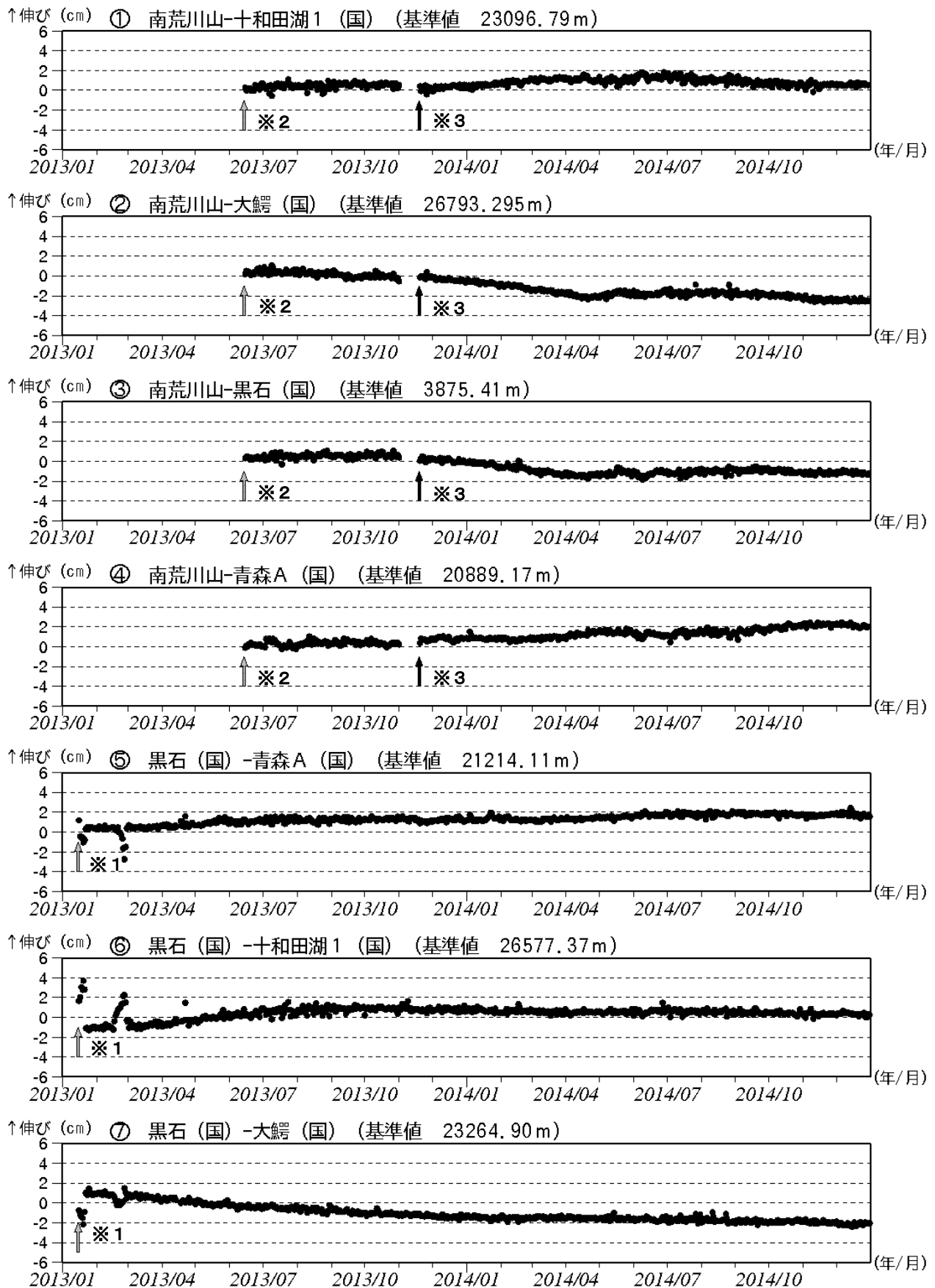


図5-① 八甲田山 GNSS 基線長変化図 (2013 年 1 月～2014 年 12 月)

- ・①～⑦は図6のGNSS基線①～⑦に対応しています。
- ・グラフの空白部分は欠測を表しています。
- ・各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。

(国)：国土地理院

※1 2013 年 1 月 16 日より解析を開始しています。

※2、3 南荒川山 (臨時観測点) は、2013 年 6 月 15 日から 11 月 1 日まで現地収録型で運用していましたが、機器の移設・更新を行い 11 月 19 日からは常時観測で運用しています。図は基準値を補正して接続しています。

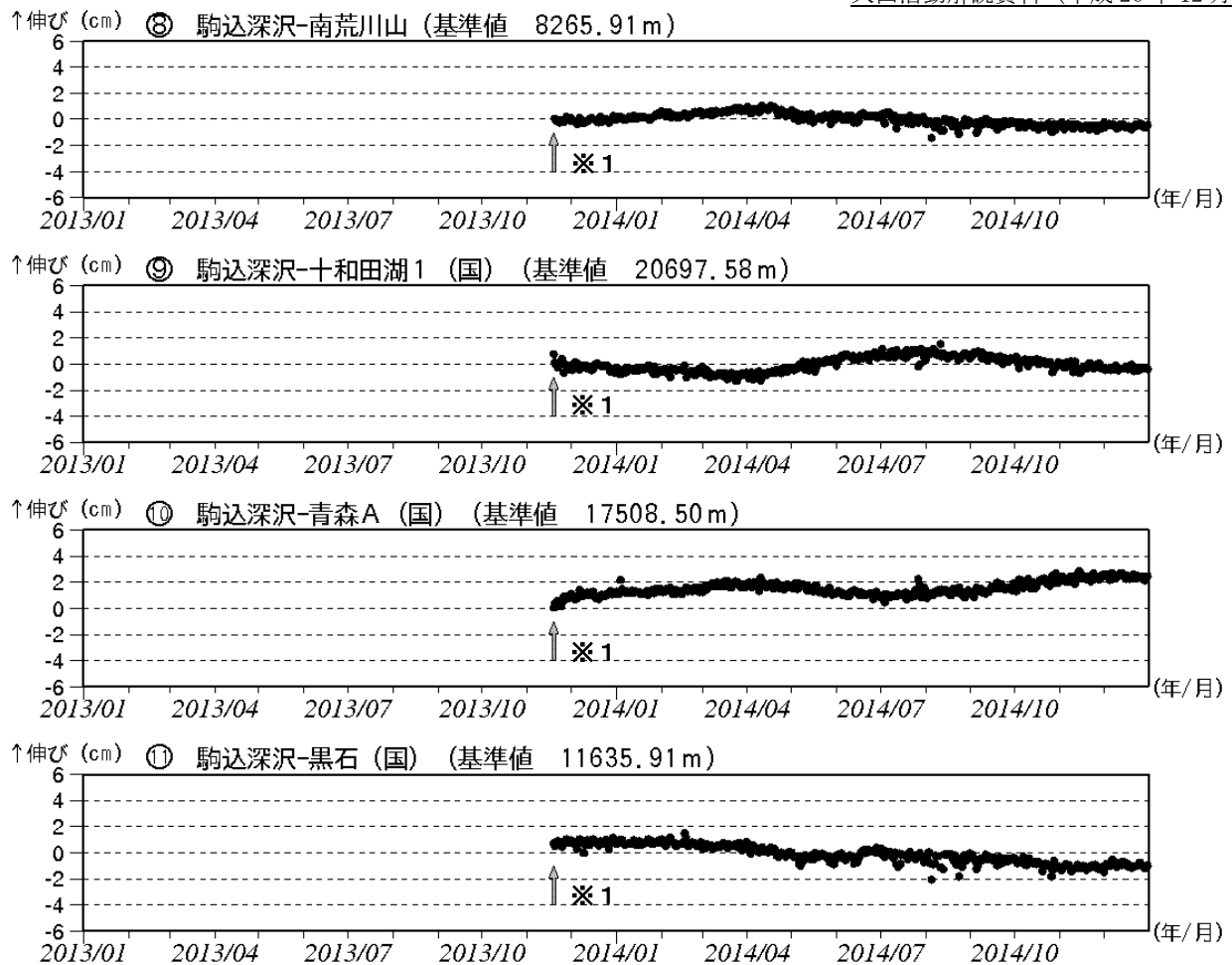


図5-② 八甲田山 GNSS 基線長変化図 (2013 年 1 月～2014 年 12 月)

- ・⑧～⑪は図6のGNSS基線⑧～⑪に対応しています。
- ・グラフの空白部分は欠測を表しています。
- ・各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。

(国)：国土地理院

※1 駒込深沢観測点は2013年11月18日から解析を開始しました。

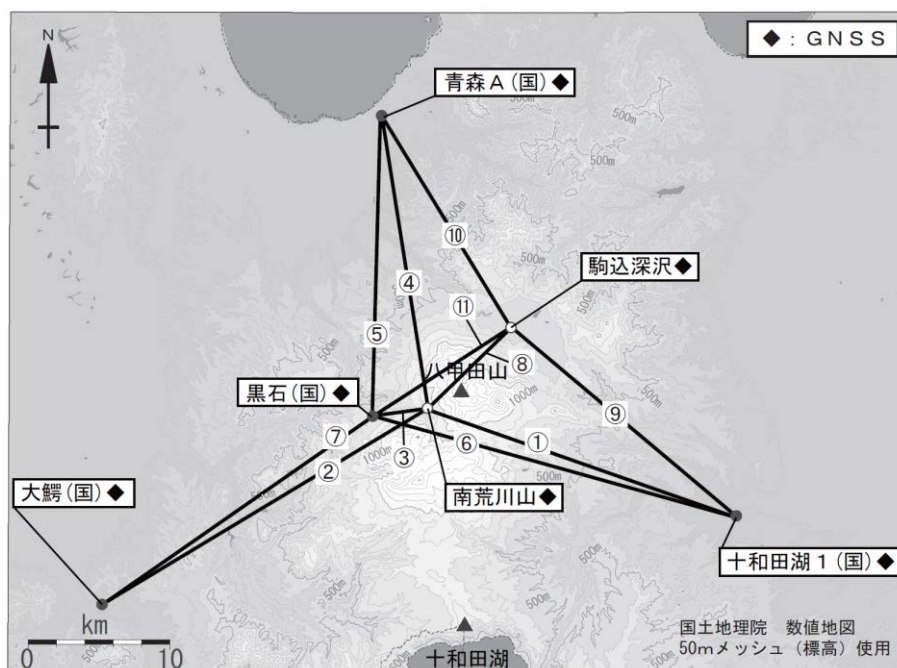


図6 八甲田山 GNSS 観測点配置図

- ・小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国)：国土地理院